

明日の星

30

川崎市に本社を置くinfrat（インフラット）は、都内で橋梁塗装工事実績が数多くある。同社の足田勇輝さんは、東京電機大学建築学科を卒業後、建築工事をメインとするゼネコンに約6年勤務し、今年転職した。同社を選んだきっかけや、現在の業務内容、今後の目標などについて聞いた。



infrat 東京支店
(中央区) 入社1年目

あしだ ゆうき
足田 勇輝さん

「建設業を志したきっかけは。」

「出身地である新潟県で

前に強みを持つゼネコンを選んだ」

「前職での仕事内容は、

プライベートな時間も確保したいと思うようになった。働き方を含め、環境を変えたくて転職を決めた」

「現在の働く環境は。」

「社員全員がほぼ定時で

帰宅している。残業をしない社風が浸透していて働きやすいと感じている。決められた時間の中でしっかりと働いて成果を出せるよう、

と思っていた。既存ストックが増える中、改修事業は今後ますます需要が高まる分野だと考えている」

「現在の主な仕事は。」

「現場業務だけではなく、事業推進などの部署で

積算業務といった工事の受注を目指した仕事を任せてもらっている。ただ、入札

の仕組みなど、これまで知らなかったことだらけ。そも

もそも同じ建設業でもジャンルが違うので、日々学んでいる。会社もインフラメ

ンテナンス業務の拡大を目指しており、ゆくゆくは現場でも力を発揮していきたい」

「プライベートの時間は確保できているか。」

「最近フットサルが趣味。妻との飲み歩きも楽しいが、健康維持のためにも運動を続けていきたい」

（東京支局 山下雄一）

働く環境変化求め異業種へチャレンジ

中越地震を経験した。特に祖父母の家は大きく揺れた。身近な人に起きた被害に恐怖を感じ、同時に建物が命を守るために重要な役割を果たすことを知った。

そこから将来は建築に関わる仕事をしたいと思うようになり、建築学科に進んだ。就職先は、免震技術な

「建築現場の施工管理が中心。経験を積み1級建築施工管理技士を取得し、新築工事に携わってきた」

「何がきっかけで転職したのか。」

「現場の状況により長時間残業が続く、多忙な日々を過ごしていた。私生活で昨年結婚したこともあり、

業務の効率化にも力を入れている」

「新築から改修への移行に抵抗はなかったか。」

「新築工事の現場周辺で、老朽化した建物やその改修工事を見かけることも多かった。今ある建物を生かすという部分に興味があり、以前からやってみたく

「現場業務だけではなく、事業推進などの部署で積算業務といった工事の受注を目指した仕事を任せてもらっている。ただ、入札の仕組みなど、これまで知らなかったことだらけ。そも

もそも同じ建設業でもジャンルが違うので、日々学んでいる。会社もインフラメンテナンス業務の拡大を目指しており、ゆくゆくは現場でも力を発揮していきたい」

「プライベートの時間は確保できているか。」

「最近フットサルが趣味。妻との飲み歩きも楽しいが、健康維持のためにも運動を続けていきたい」

（東京支局 山下雄一）